

「ビキニの海のねがい」

読者ニュース No.3



2024.11.12 「ビキニの海のねがい」を本にする会

イギリスの研究者にも好評

イギリスの Dr. Peter van den Dungen (ブラッドフォード大学の元平和学講師、平和のための博物館国際ネットワーク元代表) に絵本を送ったら、下記のメールが来ました。紹介します。

山根和代さんへ

「ビキニ事件」に関するとても良くできた本を再度送っていただき、ありがとうございました。表紙やタイトルページに翻訳タイトルが記載されていないため、正確なタイトルは存じ上げません(以前のメールで言及されていたかもしれませんが)。(お返事をしておきました。山根)この本は、どのページにも印象的でカラフルな絵が描かれており、地図などの他のイラストも添えられていて、とてもよくできています。若い方にも年配の方にも、読んだ人すべてに強い印象を与えるでしょう。

1983年に高知県の高校生たちが、1954年3月1日の第1回核実験の影響について調査を開始し、第五福竜丸が992隻の被災船のうちの1隻に過ぎないこと(そして1万人の船員が被災したこと!)を発見した経緯を、私は非常に興味深く読みました。その苦悩の規模を想像するのは困難であり、明らかにされたように、生存者とその家族にとっては現在も続いています。半ダースほどのケーススタディは、簡潔かつ明瞭な表現で非常にうまくまとめられており、悲劇の性質と規模を実感させます。

本の最後の部分は、大部分が文章(翻訳されていない)で構成されていますが、これは何について書かれているのか気になりました。(これもお返事をしておきました。山根)事実に基づく情報が数多く、イラストも添えられており、この本がさらに有益なものとなっています。

ご存知かもしれませんが、「5代目ラッキー・ドラゴン」(第5福竜丸瀆田)の展示館は、私が日本で最も好きな平和博物館のひとつです。久保山愛吉さんの死の物語、そして彼の悲しみに暮れる家族の写真が大きく掲げられており、非常に感動的です。展示館で初めて見たこの写真は今でも忘れられません。この写真をここ(イギリスの平和博物館)に展示しようと思います。この写真は、1954年の核実験という重要

山根和代さん(立命館大学)から、うれしいお便りをいただきました。山根さんはビキニ事件にも造詣が深く、この絵本をつくるときにも翻訳のアドバイザーとして大変お世話になりました。また、積極的に海外にも紹介してくださっています。今回、イギリスの研究者から感想をいただいたということで、紹介していただきました。



高校生が船員さんに聞き取りをしている様子「ビキニの海のねがい」より

『ビキニの海のねがい』 南の風社 2500円 好評発売中 ご注文は下記へ

株南の風社 Email edit@minaminokaze.co.jp <https://www.minaminokaze.co.jp>

な、しかしほとんど忘れ去られた出来事について、来館者に印象を与え、感動を与えると同時に、その事実を伝えることができるでしょう。

また、マグロの慰霊碑も気に入りました。私の記憶が正しければ、それは展示館の外にあったのですが、魚市場(あるいは漁船用の港)に移設する計画があったと思います。その訪問からすでにかなりの年月が経ちました。

1954年の実験の生存者の方々にも、今年のノーベル平和賞が自分たちに向けられたものであると感じていただければと思います。12月10日のオスロでの授賞式を楽しみにしています。

来週の日曜日に高知で行われる講演の成功をお祈りしています。美しい本の制作に携わったすべての方々に、私の祝辞をお伝えください。

(ピーター)

神田小学校で出前授業「ビキニの海のねがい」

10月24日、高知市の神田小学校の6年生に「ビキニ水爆実験と核兵器について」というテーマで出前授業を行いました。少し難しいテーマですが、いま世界を見てみるとロシアとウクライナの戦争や、イスラエルがパレスチナのガザに軍事侵攻していることなどから、核兵器とこれからの世界の平和について一緒に考えませんかという呼びかけでもありました。主な内容は次のようなものでした。

- ①今、行われている戦争、ガザについて
- ②第五福竜丸とマグロ漁のこと。たくさんマグロ漁船もビキニ水爆に遭遇したこと。
- ③そのことは、ヒロシマ・ナガサキを意識化させ、大きな核兵器反対の運動がおこったこと。
- ④アメリカは、200万ドルの見舞金でなかったことにしたいと言ってきたこと。日本も同調したこと。
- ⑤そのあと、マグロ船は出漁し、そしてアメリカは核実験を再開したこと。

特に⑤のところを意識して行いました。1956年以降1962年まで、中部太平洋では核実験はどんどん行われ、その中でマグロ漁がおこなわれていたのです。子どもたちの感想を紹介します。

○今日の話で、アメリカが水爆実験で23名を被害に遭ったことを水に流してほしいと多額のお金を出したのに、その後17回も実験しているのはおかしいと思いました。世界を平和にするためでも、人の命を奪うようなものを使用するのは違うのではないかと思います。

○第5福竜丸に乗っていた人や、マグロまで、放射線を浴びてしまっていたことが分かりました。そして、「個の出来事を水に流してください」とアメリカがいい、日本はそれに応じてしまったことが衝撃的だったし、なのにまた戦争を続けたのがとても恐ろしいと感じました。

○私は、濱田先生のお話を聞いて、核はあってはいけないものだと改めて思いました。家に帰って調べてみると、令和3年にもキャッスル作戦のせいで死んでしまった方がいることを知りました。自分の生きている今と、そう遠くないことを知って怖くなりました。お金をもらって「なし」とか、そんなのはひどすぎると思いました。だから今やっているロシアとウクライナの戦争を止めさせたいと思うし、核をなくさないといけないと思いました。

※たくさん感想をいただきました。6年生の皆さんありがとうございました。(濱田)



昭和30年頃の室津港の様子、これらの船もマグロを追っていました。

『ビキニの海のねがい』 南の風社 2500円 好評発売中 ご注文は下記へ

株南の風社 Email edit@minaminokaze.co.jp <https://www.minaminokaze.co.jp>